



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月30日

上場会社名 株式会社 ニフコ 上場取引所 東  
 コード番号 7988 URL <http://www.nifco.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 利行  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 財務・経理部長 (氏名) 本多 純二 TEL 03-5476-4853  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月6日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	106,475	22.6	10,680	49.3	10,392	32.8	7,053	81.4
26年3月期第2四半期	86,855	27.5	7,155	32.5	7,825	49.4	3,888	29.3

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 5,195百万円 (△47.6%) 26年3月期第2四半期 9,908百万円 (198.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	133.45	-
26年3月期第2四半期	73.68	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	239,178	111,881	45.8	2,071.27
26年3月期	218,427	107,783	48.2	1,993.72

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 109,509百万円 26年3月期 105,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	24.00	-	36.00	60.00
27年3月期	-	35.00	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	13.4	19,500	24.1	19,500	14.6	11,500	17.7	217.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）Nifco Germany GmbH、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	53,754,477株	26年3月期	53,754,477株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	883,564株	26年3月期	916,212株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	52,853,980株	26年3月期2Q	52,774,950株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	7
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(四半期連結損益計算書関係) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み反動減からの回復が鈍く、個人消費の低迷が引き続きみられました。海外においては欧州、中国経済の低迷がみられたものの米国経済の好景気に支えられ総じて堅調に推移しました。

当社グループの主要顧客であります日系自動車メーカーでは、個人消費の落ち込みの影響はみられたものの比較的堅調に推移し、また海外においても好調な北米をはじめ、アジアでは好調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比22.6%増の1,064億7千5百万円となりました。

一方、利益面では、業容の拡大によるコスト増加もありましたが、売上増加による利益増や原価低減活動等もあり、当第2四半期連結累計期間の連結営業利益は前年同期比49.3%増の106億8千万円となりました。連結経常利益は前年同期比32.8%増の103億9千2百万円となり、また連結四半期純利益につきましては、過年度法人税等の還付7億5千7百万円もあり前年同期比81.4%増の70億5千3百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、国内においては消費増税の反動はみられたものの、おおむね堅調に推移しました。海外においては北米を中心にアジア、欧州ともに大きく伸長しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比25.1%増の955億9千7百万円となりました。営業利益も販売増加による利益増や原価低減活動により、前年同期比43.1%増の120億3千9百万円となりました。

## ②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、国内では消費税増税の反動から一部チャネルでの落ち込みがみられ、海外においても中国での消費低迷の影響を受けましたが、「シモンズベッド」としての高級ブランドの浸透もあり総じて堅調に推移しました。この結果、当第2四半期連結累計期間のベッド及び家具事業の売上高は前年同期比3.1%増の96億6千9百万円となりました。営業利益につきましては、前年同期比4.1%増の12億3百万円となりました。

## ③その他の事業

その他の事業は主に新聞及び出版事業であります。昨年10月にThe New York Times Companyと国内業務提携をしたこともあり、当第2四半期連結累計期間のその他事業の売上高は前年同期比17.1%増の12億8百万円となりました。営業損失につきましては8千2百万円（前年同期の営業損失は1億2千7百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ207億5千万円増加して、2,391億7千8百万円となりました。この主な増加要因は、現金及び預金の増加30億8千5百万円、売上高増加に伴う受取手形及び売掛金の増加13億4千6百万円、国内技術集約等に伴う設備投資による有形固定資産の増加51億7千4百万円および欧州のM&A等に伴う無形固定資産の増加69億5千3百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ166億5千2百万円増加し、1,272億9千7百万円となりました。この主な増加要因は、長期借入金の増加180億1千5百万円によるものであります。

純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ40億9千7百万円増加し、1,118億8千1百万円となりました。この主な増加要因は、為替換算調整勘定が27億8千9百万円減少したものの、利益剰余金が61億5千3百万円増加したことなどによるものであります。

以上により当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.4ポイント減少し、45.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、106億4千6百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益104億1千7百万円、減価償却費52億3千2百万円などの資金増があり、一方で、売上高の増加により売上債権の増加額19億1千1百万円や法人税等の支払額32億円などの資金減があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは、187億4百万円となりました。これは主に固定資産の取得111億4千1百万円や子会社株式取得支出76億1千2百万円の資金減があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によって得られたキャッシュ・フローは、113億9千5百万円となりました。これは主に、低利で安定的な設備投資等資金として調達した長期借入れによる収入180億8千4百万円があり、一方で長期借入金の返済33億3千6百万円や配当金の支払19億円などの資金減があったことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて28億4千6百万円増加し、428億6千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) 平成26年5月13日発表	195,000	17,000	17,500	10,000	189 26
今回修正予想 (B)	210,000	19,500	19,500	11,500	217 55
増減額 (B-A)	15,000	2,500	2,000	1,500	—
増減率 (%)	7.7	14.7	11.4	15.0	—
(ご参考) 前期通期実績 (平成26年3月期)	185,167	15,718	17,022	9,771	185 07

通期連結業績予想の修正理由

売上高につきましては、米国、アジアなどで完成車メーカーの上期における好調な生産を受け、主力事業である自動車向け合成樹脂成形品事業の販売が当初計画より増加すると見込まれるため、また利益面につきましては、下期にはM&Aによる償却費用が見込まれるものの、販売の増収効果による利益増等により、通期の営業利益を195億円に業績予想を修正いたします。

なお、連結業績予想に用いた主な為替換算レートは、103円/米ドル、139円/ユーロです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、全株式を取得したことにより、Nifco Germany GmbHを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,555百万円減少し、利益剰余金が1,002百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	47,079	50,164
受取手形及び売掛金	36,424	37,771
電子記録債権	4,271	5,138
有価証券	6,472	5,814
商品及び製品	13,508	15,479
仕掛品	2,915	3,265
原材料及び貯蔵品	6,572	5,760
繰延税金資産	1,511	1,495
その他	5,851	6,761
貸倒引当金	△126	△183
流動資産合計	124,480	131,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,478	31,231
機械装置及び運搬具(純額)	15,412	16,187
工具、器具及び備品(純額)	4,085	4,134
金型(純額)	3,868	4,009
土地	16,873	19,789
建設仮勘定	6,006	5,348
その他(純額)	1,244	2,442
有形固定資産合計	77,967	83,142
無形固定資産		
のれん	1,731	4,968
その他	5,105	8,821
無形固定資産合計	6,836	13,790
投資その他の資産		
投資有価証券	6,504	7,564
繰延税金資産	468	291
その他	2,199	2,931
貸倒引当金	△28	△9
投資その他の資産合計	9,143	10,778
固定資産合計	93,947	107,711
資産合計	218,427	239,178

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,091	19,233
短期借入金	11,223	10,989
1年内返済予定の長期借入金	4,628	1,512
未払金	4,411	3,946
未払法人税等	2,793	2,515
賞与引当金	1,478	1,430
その他	8,713	10,022
流動負債合計	52,341	49,650
固定負債		
社債	26,237	26,051
長期借入金	22,413	40,429
退職給付に係る負債	3,576	2,358
繰延税金負債	4,133	5,385
その他	1,942	3,422
固定負債合計	58,303	77,647
負債合計	110,644	127,297
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	11,675	11,711
利益剰余金	84,725	90,879
自己株式	△1,936	△1,865
株主資本合計	101,754	108,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	782	1,420
土地再評価差額金	△86	△86
為替換算調整勘定	3,540	750
退職給付に係る調整累計額	△645	△590
その他の包括利益累計額合計	3,590	1,494
少数株主持分	2,438	2,371
純資産合計	107,783	111,881
負債純資産合計	218,427	239,178

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	86,855	106,475
売上原価	62,946	76,048
売上総利益	23,908	30,427
販売費及び一般管理費	16,752	19,746
営業利益	7,155	10,680
営業外収益		
受取利息	107	123
為替差益	654	309
その他	372	292
営業外収益合計	1,134	724
営業外費用		
支払利息	274	448
デリバティブ評価損	-	312
その他	190	251
営業外費用合計	464	1,012
経常利益	7,825	10,392
特別利益		
固定資産売却益	17	31
補助金収入	500	-
その他	14	0
特別利益合計	531	31
特別損失		
固定資産処分損	103	5
投資有価証券評価損	413	-
その他	16	1
特別損失合計	533	6
税金等調整前四半期純利益	7,824	10,417
法人税等	2,958	3,811
過年度法人税等	※ 753	※ △757
少数株主損益調整前四半期純利益	4,112	7,363
少数株主利益	224	310
四半期純利益	3,888	7,053
少数株主利益	224	310
少数株主損益調整前四半期純利益	4,112	7,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	283	638
為替換算調整勘定	5,512	△2,861
退職給付に係る調整額	-	55
その他の包括利益合計	5,795	△2,167
四半期包括利益	9,908	5,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,500	4,957
少数株主に係る四半期包括利益	408	238

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,824	10,417
減価償却費	4,220	5,232
のれん償却額	104	215
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19	38
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26	△44
退職給付引当金の増減額(△は減少)	260	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	424
受取利息及び受取配当金	△141	△165
支払利息	274	448
為替差損益(△は益)	44	△328
固定資産売却損益(△は益)	△17	△31
固定資産処分損益(△は益)	103	5
投資有価証券評価損益(△は益)	413	-
売上債権の増減額(△は増加)	△1,115	△1,911
たな卸資産の増減額(△は増加)	178	△983
その他の資産の増減額(△は増加)	△923	△296
仕入債務の増減額(△は減少)	757	209
未払又は未収消費税等の増減額	288	△67
その他の負債の増減額(△は減少)	325	893
その他	△115	71
小計	12,477	14,127
利息及び配当金の受取額	137	139
利息の支払額	△278	△419
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,342	△3,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,993	10,646
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,787	△13,085
定期預金の払戻による収入	16,228	12,506
有価証券の取得による支出	△5,064	△5,080
有価証券の売却及び償還による収入	6,214	6,064
固定資産の取得による支出	△10,757	△11,141
固定資産の売却による収入	81	111
投資有価証券の取得による支出	△1,059	△106
投資有価証券の売却による収入	70	24
子会社株式の取得による支出	△2,839	△7,612
その他	△53	△384
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,031	△18,704

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	17,222	24,269
短期借入金の返済による支出	△16,562	△25,355
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△51	△175
長期借入れによる収入	7,573	18,084
長期借入金の返済による支出	△265	△3,336
社債の償還による支出	△15,000	-
株式の発行による収入	6	-
自己株式の売却による収入	105	107
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,265	△1,900
少数株主への配当金の支払額	△235	△297
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,472	11,395
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,149	△491
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,701	2,846
現金及び現金同等物の期首残高	33,353	40,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,055	42,868

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

※ 過年度法人税等

前第2四半期連結累計期間の「過年度法人税等」は主にタックスヘイブン対策税制適用に基づく更正処分によるものであります。

当第2四半期連結累計期間の「過年度法人税等」は主にタックスヘイブン対策税制に係る課税処分の取り消しに伴う還付によるものであります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

[報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報]

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注3)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	76,444	9,378	85,823	1,032	86,855	—	86,855
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	1	59	60	△60	—
計	76,445	9,378	85,824	1,091	86,915	△60	86,855
セグメント利益又は損失(△)	8,412	1,156	9,568	△127	9,441	△2,285	7,155

(注) 1. その他には、新聞及び出版事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△2,285百万円は、全社費用△2,346百万円及びセグメント間取引消去61百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(参考情報)

[所在地別セグメント情報]

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	欧州	合計	消去又は全社	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額
売上高							
外部顧客に対する売上高	34,304	30,859	14,420	7,269	86,855	—	86,855
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,785	2,280	16	23	5,105	△5,105	—
計	37,089	33,140	14,437	7,293	91,961	△5,105	86,855
営業利益	4,596	3,444	451	170	8,663	△1,507	7,155

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

[報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報]

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注3)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	95,597	9,669	105,266	1,208	106,475	-	106,475
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	-	1	84	85	△85	-
計	95,598	9,669	105,268	1,293	106,561	△85	106,475
セグメント利益又は損失(△)	12,039	1,203	13,243	△82	13,161	△2,480	10,680

(注) 1. その他には、新聞及び出版事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△2,480百万円は、全社費用△2,543百万円及びセグメント間取引消去62百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(参考情報)

[所在地別セグメント情報]

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	欧州	合計	消去又は全社	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額
売上高							
外部顧客に対する売上高	35,561	40,269	17,884	12,760	106,475	-	106,475
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,611	3,068	22	60	5,764	△5,764	-
計	38,173	43,337	17,906	12,821	112,239	△5,764	106,475
営業利益	4,721	4,917	1,406	975	12,019	△1,339	10,680